

丸茂 元三 院長の独自取材記事

丸茂レディースクリニック
(港区／六本木一丁目駅)

最終更新日：2021/10/12

File:3667

丸茂 元三 院長

六本木一丁目駅直結の泉ガーデンタワー4階にある「丸茂（まるも）レディースクリニック」。一般的な婦人科診療から婦人科検診などの各種検診まで、幅広く対応している。院長は、太陽のような温かな笑顔がトレードマークの丸茂元三先生。日本超音波医学会超音波専門医の資格を持つエコー検査のスペシャリストでもある。新型の4Dエコーを駆使して、胎児がおなかの中でどのように動いているかをリアルタイムの映像で映し出す、ながら「胎児のプロカメラマン」だ。そんな丸茂院長に、4Dエコーの技術やクリニックの診療について話を聞いた。

(再取材日2017年9月4日)

目次

■ [新型4Dエコーを用いた健診をもっとたくさんの妊婦に](#)

■ [おなかの中の記念写真は、一生の宝物](#)

■ [母親の幸せこそが、胎児にとって一番の幸せ](#)

新型4Dエコーを用いた健診をもっとたくさんの妊婦に

■ まず、医師を志したきっかけからお聞きします。

中学生になった頃から、手に職をつけたい、将来は人の役に立つ仕事をしたい、と考えるようになって、だんだんと医療への興味が膨らんでいきました。産婦人科を専門に選んだのは、お産が病気ではなくてハッピーな出来事だから。新しい命を授かって、患者さんが笑顔で帰ってくださる、そしてその幸せを身近に感じられる部分にとても惹かれたのです。大学卒業後は、東京大学医学部附属病院で12年、板橋中央総合病院の産婦人科に10年勤務し、診療経験を積みました。

■ 開業を決意した理由は？

4Dエコーを用いた健診を、もっと多くの妊婦さんに利用してもらい、妊娠・出産をサポートしたいと考えたからです。私は日本超音波医学会認定の超音波専門医で、ちょうど3Dエコーが始めた頃に勤務していた東京大学医学部附属病院では、この新しい機械で何ができるかという研究も行っていました。ですから、超音波検査のキャリアはもう20年以上になります。昔の超音波検査は断面画像の2Dが主流で、「ここが顔ですよ」と申し上げても、妊婦さんも「顔と言われれば、顔かなあ?」という感じてしたが、3Dエコーを使い始めたら、妊婦さんの喜び方がまったく違うのです。「赤ちゃんが見えるってこんなに喜んでくれるんだ!」と私もとても感動し、もっと多くの方に受けてほしいと思うようになりました。エコー画像を見て「安心」を持ち帰ってもらい、妊娠・出産に前向きに臨んでほしい。そういう検査が身近にできる場所をつくりたいと開院に至りました。

■ 4Dエコーと3Dエコーは、どう違うのですか？

3Dエコーとは3次元超音波のことで、おなかの中の赤ちゃんを立体的な映像で映し出すものです。一方、4Dエコーはそこに時間の要素を加えたもの。3Dの画像をつなぎ合わせて、赤ちゃんの動きをリアルタイムの動画として映し出します。4Dでは赤ちゃんの表情やおなかの中で何をしているかが鮮明にわかります。胎動を感じない時期から検査可能なので、「妊娠がピンとこなかったけど、映像を見て実感とれしさが芽生えました」という妊婦さんがほとんどです。最近では4Dエコー検査ができる医院が増えましたが、超音波検査は機械の性能や医師の技術が必要です。同じ「見える」といっても性能の高い機械で慣れたドクターが行うと、見え方はまったく異なります。

■ 4Dエコーと3Dエコーは、どう違うのですか？

3Dエコーとは3次元超音波のことで、おなかの中の赤ちゃんを立体的な映像で映し出すものです。一方、4Dエコーはそこに時間の要素を加えたもの。3Dの画像をつなぎ合わせて、赤ちゃんの動きをリアルタイムの動画として映し出します。4Dでは赤ちゃんの表情やおなかの中で何をしているかが鮮明にわかります。胎動を感じない時期から検査可能なので、「妊娠がピンとこなかったけど、映像を見て実感とれしさが芽生えました」という妊婦さんがほとんどです。最近では4Dエコー検査ができる医院が増えましたが、超音波検査は機械の性能や医師の技術が必要です。同じ「見える」といっても性能の高い機械で慣れたドクターが行うと、見え方はまったく異なります。

■ 4Dエコーと3Dエコーは、どう違うのですか？

3Dエコーとは3次元超音波のことで、おなかの中の赤ちゃんを立体的な映像で映し出すものです。一方、4Dエコーはそこに時間の要素を加えたもの。3Dの画像をつなぎ合わせて、赤ちゃんの動きをリアルタイムの動画として映し出します。4Dでは赤ちゃんの表情やおなかの中で何をしているかが鮮明にわかります。胎動を感じない時期から検査可能なので、「妊娠がピンとこなかったけど、映像を見て実感とれしさが芽生えました」という妊婦さんがほとんどです。最近では4Dエコー検査ができる医院が増えましたが、超音波検査は機械の性能や医師の技術が必要です。同じ「見える」といっても性能の高い機械で慣れたドクターが行うと、見え方はまったく異なります。

おなかの中の記念写真は、一生の宝物

■ 4Dエコー検査が可能な期間は？

検査妊娠8～9週から末期まで可能です。8～9週では赤ちゃんの袋が見えるような感じで、まだヒトの形ではありません。全身を見るには12～20週頃。顔はまだはっきりしませんが、体をいっぱい使って動く様子が見られます。これがとてもかわいいんです。私は「胎児の宇宙遊泳」と呼んでいるのですが、この頃はまだ子宮内のスペースも広いので、本当に飛び跳ねるように動き回っています。双子の場合、2人並んでいる様子が見られるのもこの時期だけです。表情やしぐさを見るには、妊娠25～36週くらい。この頃には体が大きくなっているため全身は見えませんが、あくびをしたり指しゃぶりをしたり、表情もよくわかります。当院の4Dエコー装置は映像をDVDに録画できるので、検査後はDVDをお持ち帰りいただけますよ。

■ 一生の宝物になりそうですね。

生後でも、1ヵ月違うと赤ちゃんはまったく変わってしまいますよね。「あのとき写真を撮っておけば」と思っても、二度とできません。ましてやおなかの中にいるときは、ご自身が撮れませんがね。胎児も毎日日が成長ですから、本当に貴重な宝物だと思います。お子さんが生まれた後に見てあげるのもおすすめです。またエコーで撮影した画像のカラーの写真もお作りしていますが、何よりおなかの中で元気に動いている赤ちゃんのDVD映像は、一生の宝物になります。

■ 胎児の健診として「胎児スクリーニング検査」も行っていますね。

はい。これは2回に分けて行う検査で、初期は12週～14週、そして中期は20週～24週の間にを行います。心臓をはじめ、各臓器や脳の構造の進行具合を含めて異常がないかを調べますが、超音波の検査なので、赤ちゃんが大きくなって骨が丈夫になると、超音波が骨に反射して検査しにくくなってくるんです。ですから、骨がまだそれほど丈夫でなく、胎児がお母さんのおなかの中で動きやすい20～24週が一番通しています。初期と中期で検査の内容が変わってきます。

■ こちらでは分娩を扱っていませんが、出産する病院と連携がとれるシステムを採用しておられるとか。

お産はできませんが、セミオープンシステムに登録しているので32週までは妊婦健診も可能です。セミオープンシステムとは、妊娠10週代に出産を、普段の健診を決めていただき、出産はそちらの病院で、普段の健診は町の産婦人科に通うシステムです。もし早産の危険性や入院が必要になった場合も、出産する病院とスムーズに情報をやりとりできるので、出産する病院にかかっているのと同様に変わります。近隣の医院で健診を希望される場合は一つの良い選択肢だと思います。また、私たち地域の医院が順調な妊婦さんを診ることで、総合病院の外来負担を減らし、本当に必要な方を素早く大きな病院に送ることができるといいう、病院と開業医の相互にメリットをもたらすシステムでもあるんです。

母親の幸せこそが、胎児にとって一番の幸せ

■ 明るく居心地の良い院内の環境もクリニックの特色ですね。

清潔感はもちろん、色使いを明るいイメージにして、不安を抱えている患者さんに少しでもリラックスしてもらえる場所にしたいからです。実は内装デザイナーなんです。ですから導線から色の印象、さりげないポイントまで細かく発注して（笑）、院内づくりをしました。ロゴマークも4Dエコーの立体感と、私の好きな福寿草をイメージしています。私の出身地の長野でもよく見られる福寿草は、春になると庭で一番に咲く可憐な花。命の誕生や生命力を感じられるのでマークにも取り入れました。でもよく見ると「○」の中に「も」が書いてある、「まるも」マークなんです。

■ これまでで印象的だったエピソードなどありますか？

妊娠中に食べ物の嗜好が変わる方は多いと思いますが、ある納豆嫌いのお母さんが、妊娠中はなぜかずっと食べていて、出産後は食べなくなった。そうしたら子どもはあの納豆好き。第2子を妊娠したときはバナナが食べたくてたまらなかったら、やっぱり子どもがバナナ好きだった。不思議ですよね。この話をすると皆さん、「お母さんが食べていたものを子どもが好きになった」とおっしゃいますが、私はその逆だと思います。お子さんが望んでいたものを、お母さんが食べさせられていた。そのほうが話が合う。お母さんのやりたいと思ったことが、実は子どもの望むことなんですよ。このように考えると、胎教も楽になりますか？ 様々なクラシック音楽を聞いてもストレスになるだけ。お母さんが楽しんで妊娠生活を送ることが、赤ちゃんにとって最も幸せなことだと僕は考えます。

■ 妊娠や出産を控えている人たちに、一言メッセージをお願いします。

一人ひとり環境が違うように、お悩みも一人ひとり違って当然です。近年は高齢出産も増えていますが、若くても、健康でも、妊娠出産はみんな不安を感じるものです。でもそれを思い悩んでいては体にもよくありません。ですからどんな小さなことでも話をしに来てください。話しただけで気分も考え方も変わることがありますし、エコー検査は不安解消の手助けにもなります。先ほども申し上げましたが、お母さんが幸せに過ごすことが赤ちゃんの何よりの幸せなのですから。私たち医師もできる限り皆さんをサポートしながら見守っていきます。どうか妊娠生活を楽しんで過ごしてほしいと思います。

丸茂レディースクリニックの関連記事

> トピックス

思春期から高齢期まで ライフステージに応じた婦人科診療

シェアする

ツイート

LINEで送る

丸茂レディースクリニックの基本情報を見る

近隣の医療機関

赤坂虎の門クリニック
(東京都/港区)
内科、消化器内科、内視鏡内科、呼吸器内科、循環器内科、...

東京ウィメンズクリニック
(東京都/港区)
産婦人科

医療法人社団江仁会 赤坂レディースクリニック
(東京都/港区)
婦人科

医療法人社団翔麻会 麻布モンテアールレディースクリニック
(東京都/港区)
婦人科

悩みに寄り添うアプローチ

症状から調べる

病気を知る

クリニック・病院を探す

ドクターズ・ファイルは、身体の症状・悩みに合わせ、全国のクリニック・病院、ドクターの情報を調べることができる地域医療情報サイトです。診療科目、行政区、沿線・駅、診療時間、医院の特色などの基本情報だけでなく、気になる症状、病名、検査名などから条件に合ったクリニック・病院、ドクターを探すことができます。医療情報だけでなく、独自取材に基づき、ドクターに関する情報（診療方針や得意な治療・検査など）も紹介。

掲載されている各種情報は、株式会社ギミック、またはティーベック株式会社が調査した情報をもとにしています。出来るだけ正確な情報掲載に努めておりますが、内容を完全に保証するものではありません。掲載されている医療機関へ受診を希望される場合は、事前に必ず該当の医療機関に直接ご確認ください。当サービスによって生じた損害について、株式会社ギミック、およびティーベック株式会社ではその賠償の責任を一切負わないものとします。情報に誤りがある場合には、お手数ですがドクターズ・ファイル編集部までご連絡をいただけますようお願いいたします。なお、「マイナンバーカードの健康保険証利用可能医療機関」の情報につきましては、厚生労働省の情報提供のもと、情報を掲出しております。

ご利用にあたって プライバシーポリシー 医療広告ガイドラインについて お問い合わせ 運営会社

医療機関の方 情報掲載にあたって お問い合わせ

ご掲載に関するお問い合わせはこちら

医療機関の方向け ログインページ

©2022Gimic Co.,Ltd.